



エコ発電体験教室
生活に欠かせない電気の大切さを学ぶ



電気工作体験教室
地元の事業所がものづくりの楽しさを伝授



火力発電



舞鶴の海をもっと知ろう

地元研究施設の協力で身近な「海」を学ぶ



若者がチャレンジできるまち



プログラミング教室

次代を担う技術に子どものうちから触れる

舞鶴高専出身者が40人在籍するなど、本市とのつながりも深く、同社が小学校などに出前授業を行っている発電体験やソーラーカーの試乗などを実施。環境問題や持続可能な水産資源の確保など、海や魚について学ぶことは、世界中で取り組まれているSDGsにもつながる大切なテーマです。国立大学の研究機関が立地するという海に面した本市の地理的なメリットを生かして、海や魚という身近なものについて、興味関心を深める機会となりました。同時に、府内最大の漁港である舞鶴漁港の地元として、地域の魅力である海を通じて自然科学を学ぶきっかけになりました。

さらには、日立造船舞鶴工場の協力で、クイズなどで使う早押しボタンを作る教室を9月5日に開催。同工場で実際に作っている工業製品などの制御盤の仕組みを使って電気工作体験を行いました。技術、材料などの面からみても、日常では体験できない本格的なものづくりの体験を、地元事業所である日立造船の皆さんの協力を得て実施しました。

将来を変える「好奇心」

赤れんが3号棟の2階に昨年オープンしたCoworkation Village MAZURU。全国から多種多様な業種のビジネスパーソンが集まり、新しい働き方を生かし、利用者同士での新たなビジネスチャンスがすでに生まれています。

市ではこの場所を次代を担う子ども達の教育・体験の場として活用し、ものづくりはもとより幅広い分野の仕事に若いうちから触れることで、将来就きたい仕事、学びたいことを選択肢を広げたり、ものづくりの楽しさに気付くきっかけになるような教室を開催しています。

昨年6月には、舞鶴高専出身の田中邦裕さんが起業したさくらインターネット(株)監修の子ども向けプログラミング教室を開催。パソコン・スマホからAIや自動運転まで、ITの基礎となるプログラミングを子ども達に体験してもらいました。

個人や家庭ではなかなか体験できない電気工作やプログラミングに触れることで、子ども達の興味関心を刺激し、成長の機会をつくることができました。

昨年10月には、太陽光発電システムなどを手掛ける電気機器メーカー「日新電機(株)」の協力で、エコ発電教室を開催。

※SDGs…2015年国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標